



県サッカー協会・神奈川新聞社主催、日産神奈川グループ・日産自動車協賛

県少年サッカー選手権

【低学年決勝・ゴールプランダースー原FC】一進一退の攻防を続け延長戦にもつれこんだ

▽準決勝
原FC 2(2-0) 六浦少年SC

▽得点者【原】水野(補)遠山田中(なし)【六】水沢(小池)

田崎辺島沢中山波野海田

【原FC】
原FC

原FC 2(2-0) 六浦少年SC

▽決勝

ゴール	1	0	1
アシスト	2	1	0
延長	1	0	1
原FC	1	0	0
六浦少年SC	0	0	1

▽得点者【三】宮川(前)なし
田中明(田中俊、宮川)【原】水野(前中)

【G.P.】
藤田田口島村明野川俊

左内山野中田宮田小64512

GK DF MF FW GK KH

田崎辺島沢中山波野海田 62216

原FC

原FC

原FC

戦も後半に入った残り3分、ゴールプランダースが巧みなパスワークで決勝点をもぎ取り、競り勝った。宮川、田中俊のFW陣が速いテンポのパスを通し右に展開。相手ディフェンスが薄くなったところをMF田中明がロングシュート。これが必死に飛んだGKの両手の上をかすめてゴール最上部に突き刺さり決勝点となった。

同点に追いついたFW宮川



原FC(原)がゴール前で激しい攻防

原FC(原)がゴール前で激しい攻防

原FC(原)がゴール前で激しい攻防

全日本少年サッカー大会

横浜讀賣

決勝戦は二十三日、藤沢市の秋葉台運動公園グラウンドで行われ、大会出場二回目のフレッシュな原FC(横浜)がFC辻堂(藤沢)を1-0で破り、初優勝を遂げた。参加三百十八チームの頂点立った原FCは、七月二十九日から川崎市のよみうりランドサッカー場で行われ、全国大会に出場する。

原FC(横浜)初の全国初符の攻撃多用 辻堂(藤)健闘及ばず

▽決勝

原FC	1	0	1
FC辻堂	0	0	1

グラウンドをいっぱいオープン攻撃が得意こと、優れた個人技、スワイクを誇る

共に決勝戦

分、右サ

切り込

シュ

1-0で先制。続く8分、10分にも追加点を挙げ、後半17分、岩崎がヘディングシュートで4点を挙げ、原FC辻堂を突き放した。岩崎は全得点を挙げる活躍。原FC辻堂は、前半14分、ゴール前で横パスを受けたFW井口が相手DFをかきつけてゴール。その後も細かいパスやドリブルで再三原FCゴールに詰め寄ったが、体を張った守りに阻まれた。

確実に得点できた

原FC(原)右井和則監督「みんなよくやった。サリ、チャンスは

多くあったがオープン攻撃

は



第9回富士山カップ 全国少年サッカー大会

富士山カップ最盛期は次のとおり、

原FC (横浜) が初優勝

トボールクラブ (横浜) 栗原勇蔵 (原)、大瀧健太 (ヤマ) M F 関優

ハフェアプレー賞

△Bブロック 梅香5

△Aブロック 大宝1

▽Aブロック 大宝1

▽Bブロック 梅香5

△根南 (市内) ②自

△大宝 (滋賀)

△Bブロック 梅香5

県サッカー協会・富士宮サッカー協会主催の第9回富士山カップ全国少年サッカー大会(岳陽新聞社など後援)が、地元市内の十五チームを含む全国から総勢四十八チームが参加して、外神市民グラウンドをメイン会場に二十四の三日間で繰り広げられた。競技の結果は1位トーナメント戦決勝で神奈川から出場した原FCが浜北市のヤマスポーツクラブFCを延長戦(1-1)後のPK戦(4-2)で振り切り初優勝した。地元勢は、富士根南が1位トーナメント戦で勝利、上井出が2位トーナメント戦1位、北見も駒を進め参加全チームの

参加48チームの最終試合を飾る決勝は原FC対ヤマスポーツクラブFC 前・後半無得点、延長戦で1-1の激戦がメイン広場で

- 東住北② 櫻清③
- ▽同Eブロック
- 根② 都留V M C ③ 東
- ▽同Fブロック ① 大
- 富士② 大宝③ 水海
- ▽同Gブロック ① 三
- 馬北② 西③ 近江兄弟社
- ▽同Hブロック ① 飯
- 田② 富士根南③ 酒匂
- ▽同Iブロック ① 井
- ベロFC② 千代豊川③ 山
- ▽同Jブロック ① 上
- 井出② 田富③ 新和
- ▽同Kブロック ① 黒
- 田② 三保③ 小山田
- ▽同Lブロック ① 小
- 堤② 岡山③ 上野
- ▽同Mブロック ① 萩
- 丘② 白糸③ 山崎

原FC

原 4-1 金井

リベロ 5-0 上井出

大東住北 1-0 門真

黒田 4-0 小堤

彦根 0-0 大富士

(PK 4-2)

梅香 5-0 萩丘

四日市 8-0 北山

三島北 2-1 飯田

▽同準々決勝

原 2-1 0 大東住北

十四日まで三日間の熱戦が繰り広げられた「第十回記念富士山カップ全国少年少女サッカー大会」は、少年の部で原FC(横浜)が大会史上初の二連覇を達成、十周年を記念して初参加の少女の部は島田プリンセス(島田市)が制した。

優勝したものの、地元富士宮のサッカー少年少女たちはそびえる富士山の下で全国の強豪チームと熱戦を交わし、サッカーを通じて友情も結んだ。健闘の富士宮勢の①富士見

▽同Bブロック ① 金

谷② 原FC③ 大宝

▽同Cブロック ① 門

真の富丘③ 鶴ヶ台

▽同Dブロック ① 大

黒田 3-1 0 上井出

四日市 2-1 0 梅香

三島北 2-1 0 彦根

▽同準決勝

原 5-1 0 三島北

四日市 1-0 黒田

▽同三位決定戦

黒田 4-1 0 三島北

▽同決勝

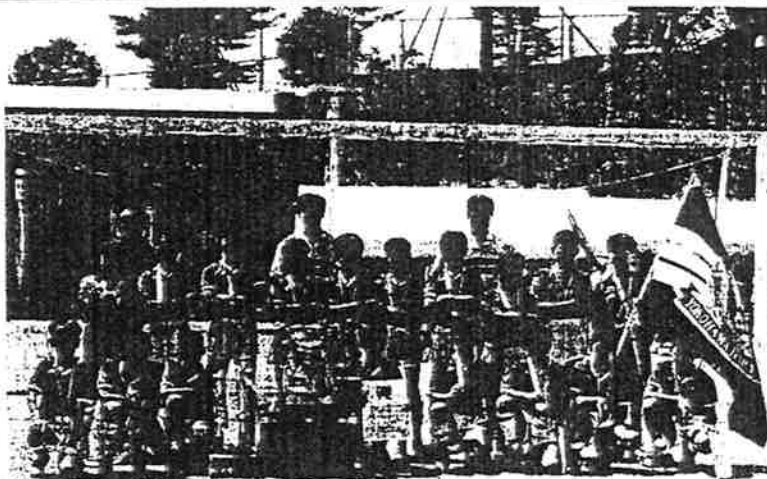
原 2-1 0 四日市

富士山カップ

原FC準優勝

瀬谷

少年サッカーチーム 石井和則さん」は、第「原FC(瀬谷区、代表 二六回横浜国際チビッ



準優勝果たした原FCメンバー

コ大会(横浜サッカー協会主催、昨年十二月十日、三ツ沢競技場)の五・六年生一部で準優勝した。

一人一人がサッカーを楽しみながら、忍耐力や集中力を身につけていく。「顔色や目の輝きでその日の子供達の気力や体調が分かる」と言う石井さん。そのきめ細かな指導のもとに、練習と勝ち試合を重ね、自信をつけてきた。とびぬけた子はいないが、みんな仲が良い。家族ぐるみの応援も心強い。

去年の夏には念願の「富士山カップ全国少年サッカー大会」で優勝し、その活躍が認められ「清水チャンピオンズカップ(静岡県清水市長杯)」に昨年末出場した。

創部十年。現在メンバーは百三十人。原小学校(瀬谷区・石井さんの出身校)の校庭で楽しく厳しい練習を週二・三回している。

◇決勝
日産 3-2 原FC
◆問い合わせは、☎045-1304-1250

アイスホッケーも 見事・大活躍

瀬谷区の少年アイスホッケーチーム「アイスリンズ(代表梅澤忠実さん)」は、第二十回関東少年アイスホッケー大会(群馬県アイスホッケー連盟主催、於伊香保スイケートリン

日・三十日)の、中学生の部で準優勝に輝いた。「気軽なおけいこ事と違い、強くなるという目的意識を持って、涙を流しながら努力し青春の感動を味わって

1995年
(平成7年)
7/14(金)

朝日アドバンス

No.239

ASAHI ADVANCE

発行/朝日アドバンス編集室

配布地域/旭区・泉区・瀬谷区の全域と戸塚区のほぼ全域

部数/93,400部
〒231 横浜市中区不老町1-6-9
横浜エクセレントV

TEL 045-663-1690代
FAX 045-671-9330

原FC優勝

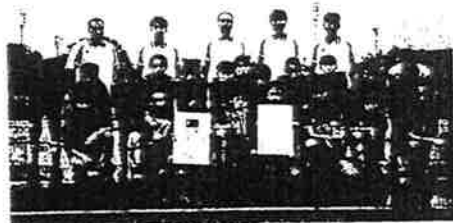
七月九日(日)、三ツ沢競技場にて第二十二回横浜少年団サッカー大会、決勝戦が行なわれ、瀬谷区の少年サッカークラブ「原FC(代表・石井和則さん)」の六年生が見事優勝を果たした。

原FCの目指すサッカーは「考えるサッカー」。ルールをきちんと身に付け、試合中の状況判断を的確に下すことが大切と、監督の石井さん。実戦で覚えていくことを重視し、他のチームとの交歓会など、試合数が多い。昨年度の活動報告には、各学年「優勝・準優勝」の文字がたくさん出てくるが、

「一つ一つの試合を大切に、確実に勝つ。それが優勝という結果になる」と、子供たちにも常々話している。応援は

家族ぐるみで、いつもアットホームな雰囲気がある。

練習は、週二・三回、幼稚園または原小学校。みんなサッカーを楽しみながら練習を重ねている。だが、だからした練習や、挨拶などの礼儀にはきびしい。現在一年生のメンバーが少ないので、サッカーをやってみたい一年生はぜひ入ってほしい。問い合わせは☎045-1304-1250 一石井さんまで。



優勝を果たした面々

きょう 開会式

決勝は来月3日

◇大会スケジュール◇

7月29日	開会式	1	戦(15時30分)
30日	グループリーグ	2	戦(9時)
31日	"	3	戦(14時)
8月1日	"	4	戦(14時)
2日	決勝トーナメント	5	戦(9時)
3日	準決勝		戦(15時)
	3位決定戦		戦(9時)
	決勝		戦(10時)

原FC(神奈川県)・遠山博人(国見やセゾンが一緒のグループでうれしい。オープン主体のサッカーで勝つ)



◇グループリーグ戦 組み分け◇

▽1組	F高名城高川	C崎北	けやき小張陽陽内	山群三京広鹿	形馬重(島島)
▽2組	五池金和玉山	戸田沢歌	すずか町南浦野	青長石和岡熊	森野川山山本
▽3組	土F須田西	崎浦大	南和崎野宮C	秋崎新兵徳神	田玉沼車島橋
▽4組	日府立高周武	原和	田ヶ中央C東年	福東富奈山佐	島京山良口賈
▽5組	日敷如F佐高	谷ア	立島一三川S	茨山愛島高	城梨知取知分
▽6組	浦原飛セ久園	F吉ソ	町C西ノ枝見	宮神枝滋愛長	城川(皇寶)崎
▽7組	訓下平	共都	栄寶章	海北橋浦京島福	道木井(根岡)手栗岡阪川崎
▽8組	太千浜高橋城	葉松橋大	東CC原C山	岩千静大香宮	



▽第二戦 実力伯仲で引き分け 原FC 0-0-0-0 古川西(岐阜)



原FC(横浜市)は、赤と黒のチェックの鮮やかなユニホームで入場行進。初出場だが、都会っ子らしく余裕の表情だった。

原FC 3 (21) 0 国見 (長崎)

国見の激しいチェックを切り抜けてゴールを奪う原FCの遠山(中央右)

原FC

監督は保父さん

神奈川NO.1のストライカー先制ゴール。セゾン(笠置)戦はチーム全得点を決めるハタ。グシユートで決勝点を挙げた。

「引き分けたら決勝トーナメントに行けないと思ったから、後半17分には、センターサークルから約30分の超ロングシュートで決勝点を挙げた。本当はもっと遠くから決めるよ。国見は2人にマと石井、先生は目をくわされてきつ顔かっていた。」

初出場ながら連勝。「この三たは強いチームになる」と燃えるんです。決勝トーナメントに行けば、もっと...」

「ヤシました」と苦笑い。

「スターターなんで、ヒヤヒヤしますよ。」

「原FCに発展して、もう7年以上の付き合いになる。だから、全員が気心知れた仲間です。でも、全員がスロースターターなんで、ヒヤヒヤしますよ。」

栃木	下都賀ジュリアンズ (初出場)
群馬	高崎北 (2年連続2度目)
埼玉	FC浦和 (2年ぶり7度目)
千葉	千葉北FC (2年ぶり3度目)
東京	府ロクSC (5年ぶり3度目)
神奈川	原FC (初出場)
山梨	敷島 (初出場)
長野	池田町 (初出場)
新潟	FC大崎 (初出場)
富山	立山中央 (初出場)
石川	金沢南 (6年連続11度目)
福井	平葦 (4年ぶり2度目)
静岡	浜松JFC (2年連続4度目)

夏バテ予防ジュース

○：原FCの選手は、特製のジュースを寝る前に飲む。りんご、大豆、はちみつなどを混ぜたこのジュース、暑さでバテないようにと飯田利光コーチ(三三)が考案出したもの。「子供たちにサッカーを教えるのが大好き」という飯田コーチは、選手のお兄さんの存在で、ふろ上がりに選手のマッサージをしたり、プレーの相談を受けたたり、大忙しだ。

ワールドカップ気分
○：「おっ、西ドイツとブラジルの試合」。古川西との試合で、原FCは白地に黒、赤、黄のラインが入った西ドイツチームと同じユニホームを着用。古川西は黄色のシャツに青のパンツとブラジルチームそっくり。



連勝

2点先制が、逆転負け
▽第四戦
浦和 4 (3-0) 2 原FC
(会場)

原FC、苦戦一敗一分

通算成績二勝一敗一分に

◇優秀選手

浦和	立部	高橋	栗原	原	松本	井	川	内
(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)	(浦和)
泉佐野	清水	毛塚	吉野	山久	矢野	大野	吉野	山久
泉佐野	清水	毛塚	吉野	山久	矢野	大野	吉野	山久

(金曜日)

ワンサイドで快勝



原FC—FC浦和 激しい雨の中、懸命にボールをキープしようとする岩崎(右)

原FCベスト8逸す

強豪FC浦和(埼玉)に敗退

熱戦が続く第十五回全日本少年サッカー大会は一日、東京・よみうりランドでグループリーグ戦最終戦と、リーグ戦を勝ち抜いた十六チームによる決勝トーナメント一回戦が行われ、ベスト8が出そろった。連日の猛暑の中、選手たちは力いっぱいプレートを披露、手に汗握る好ゲームが続いた。午後の決勝トーナメントからは雷雨と強風が吹き荒れる最悪のコンディションとなったが、選手たちは泥んこになりながら激しくボールを奪い合う熱戦を演じた。本県代表の原FCはグループリーグ二位(三勝一敗一引き分け)の好成績で決勝トーナメントに進出。



▽決勝一回戦
FC浦和 3 (2-0) 0 原FC (埼玉)

第2日

30日・女子ソフト・サッカー場

雨に見舞われるコンディションの中で熱戦がスタートし、2回戦48試合が行われた。

王国・静岡から清水FCを破って2年連続出場の本命・浜松JFCは瀬戸大橋(香川)、城山SS(宮崎)に連勝、初優勝に向けて好タジシュした。2年ぶりの日本一奪回を狙うFC浦和(埼玉)、神奈川から初出場の原FC、千葉北(千葉)など関東勢も順当に2回戦に進出、東京七冠のFC浦和(埼玉)は、2年ぶりに日本一奪回を目指している。

▽主権 日本岩崎がハットトリック

協会、日本スポーツ、読売新聞社▽第一戦

▽協賛 コナ

ボトラス、原FC 3 (3-0) 2 FC (滋賀)

▽協力 女子ソフト

▽テサント

手はびびっちゃったよねと一6
5キのマイフ
サッチャー、ハット
トリックは県決勝に続き今季3回目だ。
目立ったのは岩崎クンだ